

伝統と文化を尊重し、地域に誇りを持ち、
家族制度を大切に、正しい倫理観を持つ



「だまって見てられない!!」

皆さん、将来のことや子どもたちの未来のことを考えたら不安になりませんか？私はものすごく不安です。

「国に対して、与党に対してペコペコしていればお金をもらえる」そんな政治はもはや通用しません。「私たちの地域にとって本当に必要なことは何なのか」を自分たちで考え行動しなければいけないのです。

足元を見てみれば私達にはたくさんの可能性があるじゃないですか。ただし残念ながら解決を急がれる問題も多々あります。一人では何もできません、みんなの知恵を集めて前を向いて進むではありませんか。今こそピンチをチャンスに変えなければいけないのです。「だまって見てられない」時代なのです！

成熟社会が生き残るためには 「超高付加価値」がキーワードです。

農業

農業があってこそ日本は日本たります。農業があることで広範囲に人が住み、国土を守り、伝統・文化を伝えることができます。確かに農業にも競争は必要です。しかし、工業製品を売るために農業を差し出すTPPのような政策には絶対に反対です。農業県を自負する秋田県は実は農業産出額は東北で最下位です(青森県の3分の2です)。「安心」で「安全」な「美味しい」高付加価値な食べ物を作ることによって収入を5割増やすことを実現し、農業を生き残らせなければいけません。

これからの産業

現在私たちの地域は風力発電・太陽光発電などの「再生可能エネルギー」の一大拠点になろうとしています。加えて能代火力発電所3号機建設が順調に進んでいます。電力を都会に送るだけでは送電線が間に合わなくなってきています。次なる段階はこの地域で電力を消費できる産業を考えることです。電力を必要とする産業はたくさんあります。今注目の「水素」も電力によって「水」から作られます。未来に向かった産業作りも政治の大事な役目です。

福祉と教育

「将来の不安」高齢者本人とその家族が抱える悩みの大きな要因です。超高齢化社会に対応する本当に必要な施設が現在足りているとは思えません。福祉・医療の安心は希望ある未来の絶対条件です。強い責任感で国と地方が連携して生活の基本を守るべきです。老後の安心、医療への信頼は最優先の政治課題です。

教育の高さこそが日本の可能性の源泉です。秋田県の基礎教育は日本一のレベルです。この利点をさらに伸ばし、高等教育までつなげ、大学卒業後に地域に帰ってくるような支援体制を作らなければなりません。子供を産み、育てていくには何が必要か。子育て世代の生の声に耳を傾け、日本一の人口減少県に歯止めを掛けなければいけません。